

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

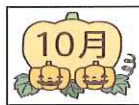
渡辺ハウジング
03-3959-8743



日増しに秋の深まる気配を感じる頃になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。猛暑、台風・・・と不順な天候に振り回され、体調を崩された

方も多いのでは?と気になります。

通常であれば、10月は衣替えのシーズンです。



四季がはっきりしている日本では、季節に応じて服を着替える習慣がありましたが、最近は地球温暖化の影響か、季節の変わり目がはっきりしないため、どうやらこの習慣はすたれてきたようです。

他人の目を気にするより自己の体調管理が第一です。

十分な睡眠と良い食事を心掛けて、実りの秋を堪能してくださいね。どうぞお元気で過ごしてください!



建築のいろはにほへと・・・?

【住まいに関する法律を知る】

これまでの日本の住宅、特に木造戸建て住宅は築後20年経つと、価値はほとんどゼロと査定されています。

実際には使えるものもたくさんあるにもかかわらず、金融機関の評価が伴わないために、担保価値としてはマイナス査定となることも珍しくありませんでした。こうした業界の長らくの慣習が、短期間で建てては壊すというサイクルを生み出してきた要因になってきた感は否めません。そのため日本では住宅への投資が富として蓄積されずに、住宅を持っても豊かさがなかなか実感できませんでした。

こうした慣習を大きく変えようとここ数年、金融業界も巻き込んで新しい仕組みが検討されています。

簡単に説明すると、これまで築年数で一律評価されてきた住宅の価値を、建物の性能やメンテナンスの状態によって、細かく評価し、金融的な裏付けも与えようという試みです。

住宅は建てたら終わりではなく、適切に維持管理を行い、ライフスタイルや世帯構成、世代に応じて住み替えが行えるような市場を作っていこうというのが大きな流れです。

新築住宅は建った瞬間から住宅ストック(中古住宅)になります。

ストックになった時の価値をどのように構築するか?

法制度も大きく変わろうとしています。

国はこれまでの新築主体の市場から住宅ストックを維持管理・改善しながら長く使う市場に移行するために、制度の見直しを進めています。

これにより今までの制度の位置づけも大きく変わると考えられます。

基本的な法制度とその方向性は、住み手自身も知っておきましょう。



「えびす講」

10月は、日本中の神様が出雲(島根県出雲市)に集まり、諸国から神様がいなくなるということから、別名で神無月(かんなづき)とも呼ばれます。

けれど家運隆盛、商売繁盛の福の神である恵比寿様だけは、神々の留守を預かるために諸国に残りました。

ひとり残った恵比寿様を慰めたのが10月20日に行われる「えびす講」の始まりといわれています。

この日、1年の無事を感謝し、五穀豊穡、大漁、商売繁盛を祈願します。



えびすは恵比寿、戎、夷、蛭子とも書き、皆さんご存知の通り七福神の一神で、福德を授ける商売繁盛の神として崇められています。



10月は他に、「初霜月」「時雨月(しぐれづき)」など素敵な呼び名がありますね。

初めての運動会



芸術の秋、読書の秋、行楽の秋、スポーツの秋、味覚の秋、そし食欲の秋・・・など、様々なことに適する季節になりましたね。

厳しい暑さがやっと過ぎ、心地よい秋の到来を心待ちしていたところへ連続で発生した台風。各地に広がった被害を伝えるニュースに胸を痛めた方も多くいらっしゃったことと思います。

被災された皆さんには、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、秋はやはり晴れた青空がイメージされますね。

澄んだ空気の下で、お祭りや運動会などでかく汗は格別！

今回は、そんな季節が巡って来ると必ず思い出すという、若いお父さんの話を紹介します。

今度の土曜日に、息子が生まれて初めての運動会が開催されることになり、昨日、息子が保育園からプログラムをもらってきました。

そして、担当の保育士さんから、息子がリレーの選手に選ばれたことを聞きました。

ええー、本当??

息子のやつ、走るのが速いらしい。
知らなかった。



けど、なんだか嬉しくって、両親や兄弟にすぐ電話した。

俺のオトン・オカンも即、気合いスイッチが入っちゃって、こっちがちょっと引くほど。

もちろん俺の弟も妹も応援に来るそう。

たかが4歳のハナタレ小僧の応援に親族8人が集合するなんて。

実は俺の息子、4年前に生まれた時、肺に水が入ってしまい、すぐに大きい病院で手当てを受けないと生命が危ないと言われたんです。

救急車になんて乗ったことがなかった俺が、初めて救急車に乗り、しかも生まれたばかりの息子の付き添い。気持ちが動転し、正直わけがわからなかった。

なんで?

何が起きたの?

これからどこへ行くの?



ついさっきまで、嫁と「やったね！元気な男の子だね！」って大喜びしたのに。

救急車で片道2時間の距離を運ばれ、診察後、それから1ヵ月も保育器に入っていた息子。

その1ヵ月の間、俺は自宅、嫁は実家、そして生まれたばかりの息子は病院と、3人別々で暮らしていたっけ。

あの時は寂しかったな。

そんな息子がついに運動会デビュー。

よくここまで大きくなったな。

よくここまで元気になったな。

よくここまで・・・。

順位なんてどうでもいい。ビリでもいいよ。

土曜日は、家族みんなで見に行くよ。そして父ちゃんが一番大きな声で応援するからな。

「ガ・ン・バ・レ!!!」



「編集後記」

日本には四季があり、季節の移ろいとともに自然を慈しむ文化が古くから根付いていますが、最近では、天気の変動の大きさにただ驚かされるばかりです。

また、ストレスを多く抱える現代では、忙しさに紛れ季節の変化を敏感に感じ取ることができにくくなっています。

けれど、ふと立ち止まって、四季折々の風の音、花の香りや鳥の声などを楽しむゆとりのひと時を持ちたいものですね。

何気ない瞬間に幸せを感じられる感性を磨き、生き生きと毎日を過ごしましょう！

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。



編集責任者

渡辺 田鶴子